

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0435101	事務事業名	端間駅周辺地区 地区(西部)計画整備事業	部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	まちづくり推進係
事業No.	J001090	開始年度	平成23年度	終了予定年度		作成責任者	まちづくり推進課長
							1/2ページ

事業の目的	西鉄端間駅周辺の活性化及び良好な居住環境の形成強化を行い、合理的な土地の利用増進を図るため、地区計画を策定し、駅前広場や道路等の地区施設の整備を行う。							予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)			
	事業概要	・地区計画面積 3.6ha ・用地買収、物件移転補償、道路工事の実施 ・整備延長L=212m、幅員W=12m							予算状況	39,000	25,000				
根拠法令、関係計画、通知等		都市計画法							補正予算	6,000					
	活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動指標	用地買収完了面積	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	前年度から繰越	2,720	28,682				
活動実績			m2	0	30			翌年度へ繰越	▲ 28,682						
活動目標及び活動実績2(アウトプット)	活動指標		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	予備費等	10	2,110					
	活動実績							計	19,048	55,792					
単位当たりコスト	算出根拠		単位	R03年度	R04年度	執行額									
	現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。		単位当たりコスト	-	-	19,048									
成果目標及び成果実績1(アウトカム)	成果目標	道路整備延長	単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	執行率(%)	100%	98%	歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	成果実績		m	-	212	-	-	歳入予算	7,343	21,907		国庫支出金	7,343	21,907	
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	成果指標	整備延長全ての整備	目標値	m	-	212	-	212	県支出金			使用料・手数料			
	達成度	%	-	100	-	-	-	分担金・負担金等				財産収入			
補足説明	-		計算式	X/Y	-	繰入金						1,185			
	根拠として用いた統計・データ名(出典)		総延長(212m)		諸収入								繰越金	1,360	
補足説明	-		成果実績						地方債	7,800	26,600	公共事業等債(現・繰)、道路新設改良事業債(繰)、駐輪場整備事業債(繰)			
	-		目標値						一般財源	1,360	7,285	計		19,048	
補足説明	-		達成度						歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な用途			
	-		達成度						工事請負費	19,038	52,702	道路(現・繰)、駐輪場(繰)、照明灯(繰)			
補足説明	-		達成度						委託料		143	不在者財産管理事件事務委託費			
	-		達成度						用地買収費		476	端間駅西口駅前広場用地費			
補足説明	-		達成度						補償費		2,471	端間駅西口駅前広場用地補償費			
	-		達成度						役務費	10					
補足説明	-		達成度						計	19,048	55,792				
	-		達成度						正職員	0.45	0.5				
補足説明	-		達成度						再任用	0.3					
	-		達成度						会計年度月額	0	0.3				
補足説明	-		達成度						会計年度日額	0					
	-		達成度						計	0.75	0.80				
補足説明	-		達成度						人件費合計(千円)	4,650	4,540				
	-		達成度						総費用(千円)	23,698	58,978				
補足説明	-		達成度						人件費等の修正(千円)						
	-		達成度						総費用(千円)※人件費等修正後	23,698	58,978				

シートNo.	0435101	事務事業名	端間駅周辺地区 地区(西部)計画整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	まちづくり推進係
事業No.	J001090	開始年度	平成23年度	終了予定年度	施策コード	P202A	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 西鉄端間駅の改札口が道路に隣接していることから、乗降者用の駐車スペースがないため、駅前広場の早急な整備が必要である。	○ 西鉄端間駅の改札口が道路に隣接していることから、乗降者用の駐車スペースがないため、駅前広場の早急な整備が必要である。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ 事業者が限られている。	○ 事業者が限られている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 駅前広場を整備することで、住民生活の利便性の向上を図ることができる。	○ 駅前広場を整備することで、住民生活の利便性の向上を図ることができる。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	○	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	- 特定の人が利用するものではなく、全ての人が利用する公共施設である。	- 特定の人が利用するものではなく、全ての人が利用する公共施設である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 令和4年度は、工事及び用地買収、用地補償を実施しており、駅前広場完成には必要なものである。	○ 令和3年度は、工事を実施しており、駅前広場完成には必要なものである。	
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 予定通りに事業を実施することができた。	△ 一部予定通りの事業実施ができなかった。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 予定通りに事業を実施することができた。	△ 一部予定通り、工事の実施ができなかった。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)	-	-	
	課名			
	連番			
点検・改善結果	点検結果	適切に事業が実施されている。 地区整備計画が未策定である。	用地買収が1件残っている。(契約済であり、所有権移転登記の手続き中) 地区整備計画が未策定である。	
	改善の方向性	引き続き、地元と地区整備計画の協議を進めていく。	早期に工事用地の登記を完了次第、速やかに工事の発注を行う。 地元との協議を進め、駅前広場の整備と並行して地区整備計画を策定する。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0435201	事務事業名	公園施設長寿命化対策事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004088	開始年度	平成28年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P2044	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的	都市公園施設の長寿命化対策の実施により、ライフサイクルコストが縮減し、施設の長期的にわたる機能の発揮を目指す。								予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)	
	事業概要	都市公園43箇所のうち、遊具等が設置された39箇所について公園施設の調査を行い、調査結果に基づいて平成29年度に「公園施設長寿命化計画」を策定した。計画に基づき施設の修繕・改築・更新を行うことで施設の長寿命化を図り、公園利用者の安全性・快適性を確保する。 社会資本整備総合交付金 国費率1/2 (採択条件:30,000千円/年以上)								補正予算		30,000		
根拠法令、関係計画、通知等		都市公園法 小都市公園施設長寿命化計画(計画期間:2019~2028)								予算内訳 (単位:千円)	前年度から繰越	30,000		
	活動目標及び活動実績1 (アウトプット)	活動目標	事業を実施した都市公園数	活動実績	箇所	5	5	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		翌年度へ繰越			▲ 30,000
活動目標及び活動実績2 (アウトプット)		活動目標		活動実績	箇所	5	5	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	予備費等	389	275		R04年度の主な収入内訳(名称等)
	単位当たりコスト	算出根拠		単位	R03年度	R04年度			計	30,389	30,275	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)		成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	4	7	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	執行額	30,388			30,274
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	4	7	13	32	執行率(%)	100%	100%	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。								歳入予算	R03年度			R04年度
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)								国庫支出金	15,000	15,000		社会資本整備総合交付金
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	4	7	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	県支出金			R04年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	4	7	13	32	使用料・手数料				R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。								分担金・負担金等				R04年度の主な収入内訳(名称等)
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)								財産収入			R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	4	7	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	繰入金			R04年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	4	7	13	32	諸収入				R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。								繰越金				R04年度の主な収入内訳(名称等)
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)								地方債	15,000	13,500	公共事業等債	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	4	7	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	一般財源	389	1,775	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	4	7	13	32	計	30,389	30,275		R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。								歳出予算	R03年度	R04年度		R04年度の主な収入内訳(名称等)
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)								工事請負費	30,389	30,275	公園施設長寿命化対策工事	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	4	7	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	計	30,389	30,275	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	4	7	13	32	正職員	0.3	0.3		R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。								再任用	0			R04年度の主な収入内訳(名称等)
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)								会計年度月額	0		R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	4	7	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	会計年度日額	0		R04年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	4	7	13	32	計	0.30	0.30		R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。								人件費合計(千円)	2,220	2,220		R04年度の主な収入内訳(名称等)
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)								総費用(千円)	32,608	32,494	R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	4	7	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	人件費等の修正(千円)			R04年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	4	7	13	32	総費用(千円)※人件費等修正後	32,608	32,494		R04年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。												R04年度の主な収入内訳(名称等)
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)											R04年度の主な収入内訳(名称等)	

シートNo.	435201	事務事業名	公園施設長寿命化対策事業	部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係
事業No.	J004088	開始年度	平成28年度	終了予定年度	終了予定なし	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 都市公園は古いところで約40年が経過しており、施設の老朽化が目立つ。現在は点検を年3回(遊具)行い、緊急性の高いものから修繕を行っている状況であるが、改築・更新が必要と思われる施設が多数あり、今後は長寿命化計画を策定し、計画的な修繕・改築・更新を行っていくことが必要である。	○ 都市公園は古いところで約40年が経過しており、施設の老朽化が目立つ。現在は点検を年3回(遊具)行い、緊急性の高いものから修繕を行っている状況であるが、改築・更新が必要と思われる施設が多数あり、今後は長寿命化計画を策定し、計画的な修繕・改築・更新を行っていくことが必要である。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	- 公共施設の改修である。	- 公共施設の改修である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ ライフサイクルコストをの縮減を図るため、計画的な改修が求められる。	○ ライフサイクルコストをの縮減を図るため、計画的な改修が求められる。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○ 指名競争入札	○ 指名競争入札	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	- 遊具は1基あたりの規格に大きな差異があるため比べられるものではない。	- 遊具は1基あたりの規格に大きな差異があるため比べられるものではない。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○ 令和5年度当初予算で計上予定であった予算を令和4年度に前倒して予算化することで、交付金が満額交付された。	○ 令和3年度当初予算で計上予定であった予算を令和2年度に前倒して予算化することで、交付金が満額交付された。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○ 各年度の経費を平準化し、費用の偏りを防ぐ。また、計画的な更新によりライフサイクルコストの縮減が図られた。	○ 各年度の経費を平準化し、費用の偏りを防ぐ。また、計画的な更新によりライフサイクルコストの縮減が図られた。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 予定されていた活動を実施した。	○ 予定されていた活動を実施した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○ 耐用年数を超過した遊具を更新することにより、維持補修費が削減された。	○ 耐用年数を超過した遊具を更新することにより、維持補修費が削減された。	
関連事業	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 予定通り遊具を更新した。	○ 予定通り遊具を更新した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○ 遊具を利用する子どもが増加した。	○ 遊具を利用する子どもが増加した。	
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)			
点検・改善結果	課名			
	連番			
改善の方向性	事業名			
	点検結果	令和4年度に5公園の遊具更新を実施した。また、令和5年度に3公園の遊具更新を予定している。	令和4年度に5公園の遊具更新を予定している。	
改善の方向性	予定している遊具更新について、地元調整等を行い、速やかに発注を行う。	予定している遊具更新について、地元調整等を行い、速やかに発注を行う。		

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0435202	事務事業名	三国・津古5310号線道路整備事業			部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係
事業No.	J004189	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和7年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的	津古区の自治公民館へ行くための道路であるが、現道は幅員が約3mと狭く、車の離合ができない道路である。道路の拡幅整備により、生活の安全(緊急車両等の良好な通行)と、地域住民の利便性の向上を図るため、早急に整備する必要がある。							予算額・執行額 (単位:千円)	R03年度		R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等) 社会資本整備総合交付金
	事業概要	用地買収、物件移転補償、道路工事の実施 整備延長L=86m、幅員W=6m							当初予算		7,000	
根拠法令、関係計画、通知等		津古まちづくり計画							補正予算	4,500		
	活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動指標	用地買収 単年度完了面積	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	前年度から繰越			
活動実績					m2	60	115			翌年度へ繰越		
活動目標及び活動実績2(アウトプット)	活動指標		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	予備費等				
				活動実績					計	4,500	7,000	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度	執行額		4,314	6,846		
	現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。			単位当たりコスト			執行率(%)		96%	98%		
成果目標及び成果実績1(アウトカム)	成果目標	道路整備延長	単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04年度	目標最終年度 R07年度	歳入予算	R03年度	R04年度		
	成果実績		m	-	-	-	-	国庫支出金	2,000	3,500		
	成果指標	整備延長全ての整備	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	県支出金				
	目標値		m	-	-	-	-	使用料・手数料				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	成果指標		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	分担金・負担金等				
	達成度		%	-	-	-	-	財産収入				
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							繰入金				
	総延長(86m)							諸収入				
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							繰越金				
								地方債	1,800	3,100	公共事業等債	
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							一般財源	700	400		
								計	4,500	7,000		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途	
								不動産鑑定手数料	500			
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							用地買収費	2,500	2,546		
								物件等移転補償費	1,500	4,454		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							計	4,500	7,000		
								正職員	0.1	0.2		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							再任用	0.15			
								会計年度月額	0			
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							会計年度日額	0			
								計	0.25	0.20		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							人件費合計(千円)	1,400	1,480		
								総費用(千円)	5,714	8,326		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							人件費等の修正(千円)				
								総費用(千円)※人件費等修正後	5,714	8,326		

シートNo.	0435202	事務事業名	三国・津古5310号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004189	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和7年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 地域住民の利便性の向上を図るとともに、緊急車両等の良好な通行を可能にするため、道路の拡幅整備を行う。	○	地域住民の利便性の向上を図るとともに、緊急車両等の良好な通行を可能にするため、道路の拡幅整備を行う。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	○	道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 津古まちづくり計画に基づき計画された道路であり、津古区からも事業の推進が求められている。	○	津古まちづくり計画に基づき計画された道路であり、津古区からも事業の推進が求められている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 道路拡幅事業に必要な用地買収である。	○	道路拡幅事業に必要な用地買収である。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 予定されていた活動を実施した。	○	予定されていた活動を実施した。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	不動産鑑定を行い適切な金額で買収した。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 予定されていた事業を実施した。	○	予定されていた事業を実施した。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	- 道路拡幅のため、用地買収を実施。未供用。	-	道路拡幅のため、用地買収を実施。未供用。
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）			
	課名			
	連番			
	事業名			
点検・改善結果	点検結果	令和4年度に予定していた用地買収が完了した。		順調に測量設計、移転物件調査まで完了した。
	改善の方向性	引き続き速やかに用地交渉に入り、今年度予定している用地買収の年度内完了を目指す。		不動産鑑定を行い、速やかに用地交渉に入り、今年度予定している用地買収の早期完了を目指す。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0435203	事務事業名	小郡・西福童3081・3086号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J000433	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和6年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的	現道は幅員が約5mの道路であり、通学路として利用されているが、車両通行のバイパス的な役割を果たしており、交通量が多く危険な状況であるため、道路の拡幅、歩道の整備を行う。							予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)					
	事業概要	用地買収、物件移転補修、道路工事の実施 【2期事業】整備延長L=180m、幅員W=14m 【交差点改良事業】県道久留米小郡線との交差点改良 【道路】地域活性化事業債(75%)、【交差点】地方道路等整備事業債(90%)							補正予算	10,000	47,000						
根拠法令、関係計画、通知等		福童まちづくり計画							前年度から繰越		▲24,000						
	活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動指標	用地買収完了総面積	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	翌年度へ繰越								
活動実績		m2	m2	m2	1,273	1,273	1,274	-	予備費等								
活動目標及び活動実績2(アウトプット)	活動指標		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	計	10,000	23,000							
	活動実績							執行額	8,593	20,269							
単位当たりコスト	算出根拠		単位	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)											
	現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。		単位当たりコスト														
成果目標及び成果実績1(アウトカム)	成果目標	道路整備延長	単位	R03年度	R04年度								中間目標 年度	目標最終年度 R04年度	執行率(%)	86%	88%
	成果実績	m	m	-	-							-	-	歳入予算	R03年度	R04年度	
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	成果指標	整備延長全ての整備	目標値	m	-							-	180	国庫支出金			
	達成度	%	%	-	-							-	-	県支出金			
補足説明	用地買収を平行して道路工事を実施しているため、整備延長のすべての道路工事を実施しているが未完成である											歳入予算	R03年度	R04年度			
	根拠として用いた統計・データ名(出典)											工事請負費	10,000	16,000	道路整備工事		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)											委託料		7,000	交差点詳細設計業務委託		
	根拠として用いた統計・データ名(出典)											物件等移転補償費					
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							計	10,000	23,000							
	根拠として用いた統計・データ名(出典)							正職員		0.1	0.15						
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							再任用		0.2							
	根拠として用いた統計・データ名(出典)							会計年度月額		0	0.25						
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							会計年度日額		0							
	根拠として用いた統計・データ名(出典)							計		0.30	0.40						
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							人件費合計(千円)	1,620	1,810							
	根拠として用いた統計・データ名(出典)							総費用(千円)	10,213	22,079							
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							人件費等の修正(千円)									
	根拠として用いた統計・データ名(出典)							総費用(千円)※人件費等修正後	10,213	22,079							

シートNo.	0435203	事務事業名	小郡・西福童3081・3086号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J000433	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和6年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 現道は幅員が約5mの通学路として利用されている道路であるが、バイパス的な役割を果たしており、車両の交通量が多く危険な状況であるため、早急に整備する必要がある。	○ 現道は幅員が約5mの通学路として利用されている道路であるが、バイパス的な役割を果たしており、車両の交通量が多く危険な状況であるため、早急に整備する必要がある。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	- 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	- 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 福童まちづくり計画に基づき計画された道路であり、西福童区からも事業の早期完了が求められている。	○ 福童まちづくり計画に基づき計画された道路であり、西福童区からも事業の早期完了が求められている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○ 指名競争入札	○ 指名競争入札	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	- 道路は特定の人を利用するものではなく、全ての人が利用する公共施設である。	- 道路は特定の人を利用するものではなく、全ての人が利用する公共施設である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 道路工事には必要なものであり、道路完成には必要なものである。	○ 道路工事には必要なものであり、道路完成には必要なものである。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 予定通りの事業実施ができた。	○ 予定通りの事業実施ができた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 予定通り、道路工事の実施ができた。	○ 予定通り、道路工事の実施ができた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	△ 進捗した道路の一部を利用している。	△ 進捗した道路の一部を利用している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-	-	
	課名			
	連番			
	事業名			
点検・改善結果	点検結果	用地買収が1件残っており、事業が完了していない。 事業開始から年数が経っており、事業期間が長くなっている。 交差点の警察協議を行っているが、信号機設置時期が明確ではない。	用地買収が1件残っている。 事業開始から年数が経っており、事業期間が長くなっている。	
	改善の方向性	関係者との協議を進め、終点の交差点信号機設置及び道路工事については、令和5年度の事業完了を目指す。 起点の交差点改良については工事を令和6年度の事業完了を目指す。	関係者との協議を円滑に行い、令和4年度の事業完了を目指す。 起点については、交差点改良が必要であるため令和4年度に測量設計を行い、早期事業完了を目指す。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0435204	事務事業名	小郡・東福童3077号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004536	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和6年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的 地域住民の利便性、土地利用の向上を図るとともに、緊急車両等の通行を可能にするため、市道の新設を行う。				予算額・執行額 (単位:千円)				R03年度 R04年度		(右側のセルは斜線表示)
事業概要 用地買収、物件移転補償、道路工事の実施 整備延長L=130m、幅員W=6m								当初予算 20,000 17,500 補正予算 ▲ 20,000 前年度から繰越 翌年度へ繰越 予備費等 ▲ 2,110 計 0 15,390 執行額 0 執行率(%) 0%		
				根拠法令、関係計画、通知等 福童まちづくり計画				歳入予算 R03年度 R04年度 R04年度の主な収入内訳(名称等)		
活動目標及び活動実績1 (アウトプット) 活動指標 用地買収完了面積				単位 R03年度 R04年度 R05年度活動見込 R06年度活動見込 活動実績 m2 0 0 当初見込 m2 481 270 34 717	予算内訳 (単位:千円)		歳出予算 R03年度 R04年度 R04年度の主な用途 公有財産購入費 5,390 用地買収費 補償、補填及び賠償金 10,000 物件等移転補償費			
活動目標及び活動実績2 (アウトプット) 活動指標				単位 R03年度 R04年度 R05年度活動見込 R06年度活動見込 活動実績 当初見込	算出根拠 単位 R03年度 R04年度 現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。 単位当たりコスト - - 計算式 X/Y - -		計 0 15,390			
単位当たりコスト 算出根拠 現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。				単位 R03年度 R04年度 単位当たりコスト - - 計算式 X/Y - -	正職員 0.25 0.3 再任用 0 会計年度月額 0 会計年度日額 0 計 0.25 0.30		人件費合計(千円) 1,850 2,220 総費用(千円) 1,850 2,220 人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後 1,850 2,220			
成果目標及び成果実績1 (アウトカム) 成果目標 道路整備延長 成果指標 整備延長全ての整備 補足説明 - 根拠として用いた統計・データ名(出典) 総延長(130m)				単位 R03年度 R04年度 中間目標年度 目標最終年度 成果実績 m - - 年度 6 年度 目標値 m - - 130 達成度 % - - -	人件費等(千円) 1,850 2,220 総費用(千円) 1,850 2,220 人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後 1,850 2,220		人件費等(千円) 1,850 2,220 総費用(千円) 1,850 2,220 人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後 1,850 2,220			
成果目標及び成果実績2 (アウトカム) 成果目標 成果指標 補足説明 根拠として用いた統計・データ名(出典)				単位 R03年度 R04年度 中間目標年度 目標最終年度 成果実績 目標値 達成度 %	人件費等(千円) 1,850 2,220 総費用(千円) 1,850 2,220 人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後 1,850 2,220		人件費等(千円) 1,850 2,220 総費用(千円) 1,850 2,220 人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後 1,850 2,220			

シートNo.	0435204	事務事業名	小郡・東福童3077号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004536	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和6年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 地域住民の利便性を図るためにも市道の新設を行う必要がある。また、緊急時に緊急車両等が走行できる道路が限られているので早急に整備する必要がある。	○	地域住民の利便性を図るためにも市道の新設を行う必要がある。また、緊急時に緊急車両等が走行できる道路が限られているので早急に整備する必要がある。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ 事業者が限られている。	○	事業者が限られている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 生活道路の整備を進めることで、住民生活の利便性の向上を図ることができる。	○	生活道路の整備を進めることで、住民生活の利便性の向上を図ることができる。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	道路は特定の人が利用するものでなく、全ての人が利用する公共施設である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	× 地権者との用地交渉に時間を要したため、事業を実施できなかった。	×	地権者との用地交渉に時間を要したため、事業を実施できなかった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	× 地権者との用地交渉に時間を要したため、事業を実施できなかった。	×	地権者との用地交渉に時間を要したため、事業を実施できなかった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）			
	課名			
	連番			
	事業名			
点検・改善結果	点検結果	一部、官民境界未確定箇所がある。		一部、官民境界未確定箇所がある。
	改善の方向性	官民境界未確定箇所については、都市整備課と調整し早期確定を目指し、用地買収の着手を目指す。		予定している用地買収を速やかに完了する。官民境界未確定箇所については、都市整備課と調整し早期確定を目指す。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0435205	事務事業名	展示林整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004329	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和4年度	施策コード	P2044	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的	小郡市唯一の山である花立山森林には、城山公園が隣接し、森林や池、公園を含め小郡市の自然を活かした観光スポットとなっており、森林や遊歩道等の整備を行うことにより、自然とのふれあいを主とした環境づくりを目指す。								予算額・執行額 (単位:千円)	R03年度		R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)			
	事業概要	花立山の散策路に影響のある樹木の伐採及び山頂付近にある展望台からの眺めを確保するため樹木の間伐を行う。 森林整備(樹木の間伐等)、歩道の改修、休憩施設の改修、案内板設置等 福岡県展示林整備事業交付金 交付率10/10 (採択条件:樹木の間伐、伐採、植樹が事業費の1/2程度)								当初予算		3,000				
根拠法令、関係計画、通知等		城山公園基本計画 福岡県県民参加の森林づくり推進事業補助金等交付要綱 福岡県展示林整備事業実施要領								補正予算	3,000					
	活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動目標	伐採した樹木	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	前年度から繰越							
活動実績		本	-	-				翌年度へ繰越								
活動目標及び活動実績2(アウトプット)	活動目標		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	予備費等								
	活動実績	本	15	15	-	-	計	3,000	3,000							
単位当たりコスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度	執行額					2,786		2,167		
	現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。			計算式	X/Y			執行率(%)						93%	72%	
成果目標及び成果実績1(アウトカム)	成果目標	整備面積	単位	R03年度	R04年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	歳入予算						R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	成果実績	m2	480	390	-	-	国庫支出金									
	成果指標	整備面積	目標値	m2	-	-	-	-	県支出金					3,000	3,000	福岡県展示林整備事業
	達成度	%	-	-	-	-	-	使用料・手数料								
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								分担金・負担金等							
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								財産収入							
	R3.ツツジの剪定 R4.障害木撤去・植樹								繰入金							
									諸収入							
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	成果目標		単位	R03年度	R04年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	繰越金								
	成果実績							地方債								
	成果指標		目標値					一般財源								
	達成度	%						計					3,000	3,000		
補足説明								歳出予算					R03年度	R04年度	R04年度の主な使途	
根拠として用いた統計・データ名(出典)								工事請負費					1,693	157		
								修繕料					1,278			
								委託料					29	2,843		
								計					3,000	3,000		
								正職員					0.2	0.1		
								再任用					0			
								会計年度月額					0			
								会計年度日額					0			
								計					0.20	0.10		
								人件費合計(千円)					1,480	740		
								総費用(千円)					4,266	2,907		
								人件費等の修正(千円)								
								総費用(千円)※人件費等修正後					4,266	2,907		

シートNo.	0435205	事務事業名	展示林整備事業	部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係
事業No.	J004329	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和4年度	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 展望台からの眺望の確保、散策路の改修による安全な登山、休憩施設改修による快適な空間の確保が求められている。	○ 展望台からの眺望の確保、散策路の改修による安全な登山、休憩施設改修による快適な空間の確保が求められている。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	- 森林環境税を財源とした補助金であり、事業後は展示林として森林の維持が求められ、事業主体が限られる。	- 森林環境税を財源とした補助金であり、事業後は展示林として森林の維持が求められ、事業主体が限られる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 利用者の増進と施設整備の向上が図られる。	○ 利用者の増進と施設整備の向上が図られる。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○ 随意契約	○ 随意契約	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○ 交付金を利用することで市の負担が減少する。	○ 交付金を利用することで市の負担が減少する。		
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 地元協議により予定されていた工事を変更し、委託業務を実施することができた。	○ 予定されていた工事を実施することができた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 地元協議により予定されていた工事を変更し、委託業務を実施することができた。	○ 予定されていた工事を実施することができた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○ 利用者の安全性・快適性が向上したことで、利用者の拡大が図られ、公園の活性化につながっている。	○ 利用者の安全性・快適性が向上したことで、利用者の拡大が図られ、公園の活性化につながっている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）			
	課名			
	連番			
点検・改善結果	点検結果	令和4年度当初予定していた展望台周辺の樹木伐採等から、令和2年度に実施した伐採箇所への植樹へ変更し、事業を実施した。 地元からの要望に柔軟に対応できた。	令和3年度に当初予定していた展望台周辺の樹木伐採や施設の補修を完了した。引き続き、早くて山や施設の適正な維持管理のため、事業の継続を予定している。	
	改善の方向性	樹木伐採については、その必要性、場所等について地元と十分協議を行う必要があり、令和5年度以降の事業は未定である。	樹木伐採については、その必要性、場所等について地元と十分協議を行う。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0435206	事務事業名	東福童地内新設道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係
事業No.	J004537	開始年度	平成30年度	終了予定年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的		地域住民の利便性の向上を図るとともに、緊急車両等の通行を可能にするため、市道の新設を行う。						予算額・執行額 (単位:千円)		R03年度		R04年度	
事業概要		用地買収、物件移転補償、道路工事を実施 北側【小郡・東福童3525号線】整備延長L=160m 幅員W=6m R2～ 南側【小郡・東福童3589号線】整備延長L=160m 幅員W=6m H30～ 地方道路等整備事業債(90%)								当初予算		10,000	
根拠法令、関係計画、通知等		福童まちづくり計画						補正予算	6,500				
活動目標及び活動実績1(アウトプット)		活動指標	用地買収完了総面積 ～R3 南側 R4～ 北側	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	前年度から繰越	2,902			
活動目標及び活動実績2(アウトプット)		活動指標		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	翌年度へ繰越				
単位当たりコスト		算出根拠		単位	R03年度	R04年度	予算内訳 (単位:千円)						
現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。		単位当たりコスト											
成果目標及び成果実績1(アウトカム)		成果目標	道路整備延長	単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	計	9,402	10,000		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)		成果指標	整備延長全ての整備	単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)	
補足説明		【協議中】R4・R5 南側工事、R6・R7 北側工事						歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途		
根拠として用いた統計・データ名(出典)		根拠として用いた統計・データ名(出典)						工事請負費		10,000	南側道路整備工事		
成果目標		成果実績		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	補償費	98			
成果指標		目標値		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	用地買収費	9,304			
補足説明		達成度	%	単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	計	9,402	10,000		
根拠として用いた統計・データ名(出典)		根拠として用いた統計・データ名(出典)						正職員		0.1	0.05		
		成果実績		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	再任用	0.15			
		目標値		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	会計年度月額	0	0.25		
		達成度	%	単位	R03年度	R04年度	中間目標 R04 年度	目標最終年度 R07 年度	会計年度日額	0			
								計	0.25	0.30			
								人件費合計(千円)	1,400	1,070			
								総費用(千円)	10,473	1,070			
								人件費等の修正(千円)					
								総費用(千円)※人件費等修正後	10,473	1,070			

シートNo.	0435206	事務事業名	東福童地内新設道路整備事業	部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係
事業No.	J004537	開始年度	平成30年度	終了予定年度		作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	○	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。
	-	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。
	○	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。
事業の効率的性	-	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。
	-	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。
	-	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	競争性のない随意契約となったものはないか。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	受益者との負担関係は妥当であるか。
	-	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	単位当たりコスト等の水準は妥当か。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。
	-	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）
事業の有効性	-	線越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	線越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）
	-	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。
	×	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。
	-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。
関連事業	×	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。
	-	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）
		課名		
	連番			
	事業名			
点検・改善結果	点検結果	北側については、R3に引き続き相続人調査のため、弁護士等に相談した。南側については、関係地権者と協議が整わず、工事に着手できなかった。	点検結果	北側については、測量設計が完了。R3については、相続人調査を実施。南側については、用地買収2件が完了した。
	改善の方向性	北側については、不在者財産管理人制度等の利用も含め、相続人問題について解決に取り組んでいきたい。南側については、引き続き関係者と協議を重ね、工事に着手したい。	改善の方向性	北側については、海外に移住している相続人について継続して調査を実施し、早期に用地買収に取り組めるよう準備を進める。南側については、用地買収が完了したため、工事着工を目指す。